

国立佐世保工業高等専門学校同窓会 会報 2025

生定員を40名から45名に増やし、5名増やした部分に対しては情報知能工学科以外の3学科でも各専門に軸足を置きつつ高度な情報系の知識を持った人財を育成します。定員増20名の入試に相当する「DIGI+（デジタス）特別選抜」では70名の志願をいただきました。この数字は、改組が注目され期待もされている証だと捉え、その気持ちにしっかりと答える教育を進めて参りたいと考えております。

なおこの取り組みは文科省の「高度情報専門人材の確保に向けた機能強化」事業に申請し認められたものです。本校は当該事業開始初年度に申請し、5高専が採択されたうちのひとつとして選ばれました。佐世保高専は高専の一期校として常に時代の先頭をいく高専でありたいと考えていますし、チャレンジし切り拓く高専でありたいと考えています。今回の改組はAI等の目覚ましい情報技術の発展の中で、時代が求める人財をしっかりと育成し輩出していく役割を果たすためのチャレンジでもあります。教職員が一丸となって進めて参りますので、今後の展開にご注目いただければと思います。

ご承知の通り、これ以外にも佐世保高専ではさまざまなチャレンジングな取り組みを進めています。国立高専全体の拠点校としての半導体人財育成、EDGEキャリアセンターを中心としたアントレプレナーシップ教育とスタートアップ支援、水素エネルギー活用等のGX関連の研究や社会実装教育、小中学校への早期STEAM教育、地元を中心とした企業等との連携活動、等々枚挙にいとまがありません。

今の高専教育は、講義や実験実習等での知識と技術を備えた技術者の育成はもちろんのこと、高度な知識と技術をベースに新たな社会を創造することができる人財育成が求められており、学校にはそのための「場」の提供が求められていると思います。佐世保高専でもさまざまな形で学生たちに「場」を提供し、学生の成長を支援し、高いレベルで社会に貢献できる人財を育てたいと考えており、今後もそのための取り組みを推進し着実に成果を積み上げていく所存です。

最後に、佐世保高専の学生の活動に対する支援ということをお願いしておりました「佐世保市ふるさと納税」では無事目標額を達成いたしました。皆様には多大なる

ご支援をいただいたのではないかと考えております。紙面を借りてではありますが、感謝申し上げます。

今後も頑張っている学生の姿をご覧いただき、佐世保高専の活動にさまざまな形でご支援をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【同窓会への寄付者名簿】

期間：2023/10/1～2024/9/30

本年度も沢山の寄付を頂きました。（総額1,053,768円）

ここに記して感謝の意を表します。

同窓会への寄付者名簿（1/2）

NO.	卒期	科	御 芳 名	NO.	卒期	科	御 芳 名
1	1	M	川崎 正美	45	7	M	伊東 博隆
2	1	M	北國 敏己	46	7	M	桑本 伸博
3	1	M	古賀 哲夫	47	7	M	下田 勉
4	1	M	坂本 雄郎	48	7	M	瀬戸口 一秀
5	2	M	井川 隼人	49	7	M	鶴田 和壽
6	2	M	坂本 広喜	50	7	M	土井 重孝
7	2	M	高尾 由一	51	7	M	平田 輝義
8	2	M	中尾 充宏	52	7	M	前田 和夫
9	2	M	山田 正見	53	7	M	力武 辰生
10	2	E	松尾 義幸	54	8	M	坂本 敬二
11	3	M	金崎 洋典	55	8	M	佐藤 誠
12	3	M	狩野 利根雄	56	8	M	朝長 茂
13	3	M	里崎 隆司	57	8	M	吉永 恭二
14	3	M	辻 政人	58	8	E	岩崎 銀次郎
15	3	M	山崎 賢一	59	8	E	小野 謙治
16	3	M	渡 耕平	60	8	E	川下 智恵
17	3	E	久保 誠	61	8	E	河野 正秀
18	3	E	山口 利昭	62	8	E	森田 仁
19	4	M	泊 敏幸	63	8	C	江口 靖廣
20	4	M	中尾 彰	64	8	C	田川 智樹
21	4	M	中島 健一	65	8	C	8C有志
22	4	M	永尾 勝	66	9	M	大坂 弘美
23	4	E	小柳 研一	67	9	M	金子 俊彦
24	5	M	犬塚 光則	68	9	M	小森 豊明
25	5	M	西木戸 保	69	9	M	平 稔
26	5	M	松永 正勝	70	9	M	高木 辰治
27	5	M	村上 満俊	71	9	M	西村 直志
28	5	M	力武 烈	72	9	M	日野 連海
29	5	E	松丸 義幸	73	9	M	宮下 道行
30	5	C	大宅 倫明	74	9	C	石丸 浩二
31	5	C	北村 貢	75	9	C	高木 哲朗
32	5	C	草刈 孝	76	9	C	長沼 美佐子
33	5	C	小池 利昭	77	10	M	土岐 滝三
34	6	M	鹿島 規充	78	10	M	中山 宏
35	6	M	古賀 茂弘	79	10	M	深堀 恵三
36	6	M	坂口 敏明	80	10	E	内田 敬一
37	6	M	寺田 正保	81	10	E	中田 敦典
38	6	M	松瀬 茂雄	82	10	C	広田 俊彦
39	6	M	宮田 保樹	83	10	C	深堀 典子
40	6	E	徳久 潔	84	11	M	加椎 玲二
41	6	E	中野 達一	85	11	M	川下 隆生
42	6	E	吉村 辰久	86	11	M	島ノ江 政人
43	6	C	田中 三郎	87	11	M	中尾 正人
44	6	C	鳥巢 新二	88	11	M	藤瀬 英二郎

同窓会への寄付者名簿 (2/2)

NO.	卒期	科	御 芳 名	NO.	卒期	科	御 芳 名
89	11	M	中尾 正人	118	16	M	本山 浩一
90	11	E	高尾 邦俊	119	16	E	濱本 輝実
91	11	E	千々岩 和彦	120	16	E	湯浅 信仁朗
92	11	C	岩村 和彦	121	17	M	栗山 道弘
93	11	C	岡本 義廣	122	17	M	百武 正人
94	11	C	平本 祐二	123	17	E	松尾 美彦
95	12	M	山口 康春	124	17	C	高島 裕正
96	13	M	田中 誠一	125	18	M	草野 武生
97	13	E	稲森 真	126	18	M	中里 辰三
98	13	E	江口 隆樹	127	19	M	酒井 康寿
99	13	E	大坪 幸人	128	19	E	吉永 忠司
100	13	E	久家 熊吉	129	20	M	北口 功幸
101	13	E	西川 高	130	21	M	北島 篤志
102	13	E	平川 一義	131	21	M	武村 浩道
103	13	C	友廣 啓二	132	23	M	樋渡 信一
104	14	M	内田 澄広	133	23	M	吉岡 義邦
105	14	M	西村 晴喜	134	23	E	小林 克明
106	14	M	狭間 大輔	135	23	C	戸来 充子
107	14	M	前川 徹也	136	25	M	江頭 俊雄
108	14	M	松下 明信	137	25	C	田中 幸司
109	14	M	松永 正人	138	26	M	林 隆之
110	14	M	吉川 忠博	139	27	M	杉山 義和
111	14	C	小山 勇昭	140	27	M	松尾 正彰
112	14	C	古谷 裕朗	141	28	M	有川 哲郎
113	14	C	福田 明雄	142	30	S	山田 磨樹
114	15	M	樋渡 昭弘	143	31	M	三根 貴史
115	15	M	光武 克之	144	34	C	白川 鮎美
116	15	C	椿崎 仙市	145	39	M	山本 高弘
117	16	M	天島 敬夫	146	51	S	内田 和志

【令和6年度(2024)同窓会総会報告】

今年の総会はインターネット総会(11/1～11/10)と福岡市での集合形式総会(11/16)の併催という本来の形で開催されました。インターネット総会は227名、集合形式は78名、合計305名の投票総数でした。

結果は多数のご賛同を得て、1号議案(活動報告・決算報告)、2号議案(事業計画案・予算案)、3号議案(役員の一部変更と幹事新任案)がいずれも認められました。

詳しくは、同窓会ホームページ(<http://www.sasebo-ct.net/>)にて配信中です。(総会便り→令和6年度総会)

【支部活動報告】

関西支部の活動状況

関西支部長 高島 裕正 (17C)

関西支部では、毎年6月頃に「関西支部の集い」を開催しております。昨年度も6月1日(土)に大阪梅田にて、開催致しました。出席者は42名と一昨年より少しずつですが、参加メンバーも増えております。

また、今回は、歌のお姉さんをゲストに迎え、楽しく開催させて頂きました。尚、本年度は、5月31日(土)

18:00より梅田スカイビル、36Fスカイルームにて、今回もゲストを招いて開催する予定です。関西支部以外の方でもOKですので、是非参加頂ければと思います。

関西支部は、「関西支部の集い」以外にも、「関西支部同窓会コンペ」を年に2回開催しております。今年は、3月13日(木)に信楽カントリー倶楽部で、11月に滋賀県近辺で開催する予定です。ゴルフ好きの方は参加をご検討下さい。



2024年度「関西支部の集い」参加メンバー

2025年度 東京支部の活動

東京支部長 加椎 玲二 (11M)

1. 東京支部ネットワークの向上と懇親会活動

東京支部では例年同様OBの皆さまのネットワーク(縦横の繋がり)の向上とお互いの懇親の場作りを中心に推進いたします。

詳しくは下記を参照ください。

<https://www.sasebo-ct.net/>

佐世保高専同窓会HP>本部・支部だより>東京支部
>東京支部2025年度の活動

2. 大型懇親会の開催

大型懇親会は2024年に実施しました。2026年11月に本部総会の東京地区開催が予定されておりますので、2025年はその準備期間として対応していきます。

ご連絡、ご意見がありましたら、下記までお知らせ下さい。

支部長 加椎玲二 reiji.kashii@gmail.com

長崎支部の活動状況

長崎支部長 椿崎 仙市 (15C)

長崎支部では、2024年10月19日（土）に長崎市内のサンプリエールにて第8回長崎支部会を開催し、下田校長、藤田事務部長、3期～55期までの同窓生 計37名の方々にご参加いただきました。また、午前中は有志（9名）による懇親ゴルフコンペを開催しました。

長崎支部会では、友廣同窓会会長から同窓会の活動、学校への支援の状況について、下田校長から佐世保高専の近況について紹介がありました。佐世保高専が、社会のニーズを先取りして日々変革を遂げていることがわかりました。今後の活躍を期待しています。

来年も「参加者の皆様へ気軽に参加して楽しんでいただけの同窓会」を目指し、企画させていただきますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。



2024年度「第8回長崎支部会」参加メンバー

「2024佐世保支部の集い」開催される

佐世保支部長 中田 敦典 (10E)

2024年7月6日（土）セントラルホテル佐世保にて43名が参加して「2024佐世保支部の集い」が開催され

ました。

来賓の下田校長、堀江副校長学生主事、藤田事務部長を迎え、在校生の4名が招待に応じてくれました。

在校生が支部会に出席するのは佐世保支部では初めての事です。在校生の皆さんは50歳程の年の差のある先輩方のテーブルを回って言葉を交わし交流を深めていました。

また和洋楽器演奏のシブバンドの皆さんの演出で「ひげダンス」のリズムに合わせて一人が踊りながら毛糸のボールを投げ、もう一人がそれを棒で刺してキャッチするゲームで会場は盛り上がりました。更に「5匹の子ぶたとチャールストン」の歌と演奏に合わせ、子ぶたの鼻の頭や帽子の被り物を付けた同窓生や在校生、校長先生も加わっての踊りで会場は爆笑に包まれ雰囲気は最高潮に達しました。

とても盛り上がった集いでしたが閉式の時間となり校歌と学生歌を歌って来年再会できることを願いながら解散となりました。



下田校長先生も加わり、盛り上がった「踊り」参加者



MTEホールディングス(株)・宮本電機(株)・テムコン(株)・ロボットテクノス(株)

代表 宮本 憲 電気工学科 1期生

本社 : 〒859-3153 長崎県佐世保市三川内新町8番地9
TEL : 0956-20-3103 FAX : 0956-20-3104
URL : <http://miyamoto-dennki.co.jp/>

MTEグループは時代のニーズに応じて、幅広い分野での自動化を総合制御システムメーカーとして支えてきました。家電や自動車の製造ラインから、プラント、一次産業、エネルギー・環境と様々な分野の制御システムを構築することでこれからも調和のある社会造りへ貢献して参ります。



弊社ホームページへ

2024年高専祭コーヒーショップ出店

佐世保支部長 中田 敦典 (10E)

11月9日(土)から10日(日)にかけて母校で開催された高専祭に佐世保高専同窓会佐世保支部がコーヒーショップを出店しました。

コーヒーショップは正門から入って噴水奥の50周年記念館八角堂で行いました。一杯100円のコーヒーを2日間で427杯42,700円を販売して目標の400杯以上を達成しました。

佐世保支部同窓生有志の皆さんで結成された「シブバンド」によるバンド演奏を終日やっていただき、来店された多くのお客様に楽しんでいただきました。中には2日間ともお見えになった方もいらっしゃいました。すっかりファンになっていただいたようです。

2日目はお昼から雨が降り出してお客様の入りが心配されましたが、雨の中八角堂の前で必死に呼び込みを行いお客様に入店していただきました。

同窓生の方もちらほらお見えになって「八角堂を初めて見た」とか「八角堂で同窓会がコーヒーショップ出店してるって初めて見た」という方もいらっしゃいました。

これからも高専祭・文化祭でこの八角堂コーヒーショップ出店を継続して、そこに行けば同窓生に会えるという状況を作っていきたいと思います。

このコーヒーショップ出店にご協力いただいたボランティアの皆様、「シブバンド」の皆様お疲れ様でした。



八角堂（創立50周年記念館）の中での記念写真

【会員投稿】

「高専」はメジャーになったのか？

－最近思うこと－

電気工学科卒 (4E) 山口 健二

高専創立から60年を優に超えた。はたしてこの60年という時間の中で高専というシステム、卒業生等々は日本社会の中でメジャーになりえたのだろうか。把握していないので明確ではないが、あるいは卒業生の中で数多の人たちが社長になったかもしれない。しかしそれだけでメジャーとは言えんだろう。

高専一期生が日立製作所の入社試験を大学卒と一緒に受けて同じ問題を解き、結果は佐世保高専生（電気工学科）のひとりが大学卒を差し置いてトップとなり、「高専卒は使える」と世に知らしめたという話を聞いたことがある。

私は1970年に当時はそれほど有名ではなかった日本電気株式会社（NEC）に入社した。入社の際は大学卒と同じように扱われ、給与は年齢差分マイナス a があった。

しばらくして異動した部門（通信機のハードウェア方式開発）のメンバーほとんどが、東大工学部、東工大、早稲田の理工や慶應の工学部卒といった学歴の持ち主だらけだった。当時の日本電気は通信部門がいわゆる保守本流であり、優秀な連中のほとんどが通信部門（伝送、交換、無線）に配属されていた。

そうした中に鈴鹿高専一期生の人が入り、前述の華やかな学歴の連中を歯牙にもかけず結果を残されていた。一時期私の直属の上司でもあった。他の高専の一期生もかなり優秀な人がおられ、国内留学と称して東大の研究室で1年間研修された人もいた。

初期の頃はそうした優秀な人を輩出していたが、それで高専の名が上がり、今の社会でどれほど高専という教育機関が認知されているのか、甚だ心もとない気がする。

1962年は、振り返ってみれば高度経済成長のとは口であり、まさに即戦力としての技術者の養成が愁眉の急であったことがわかる。しかし、失われた30年を含めこれからは非常に厳しいことになるのではなかろうか。（以上）